



みくみの  
突撃インタビュー!

「楽しくのびのびと！」

今回は、くらふとくらぶの野尻尚美さんにインタビューしました!

## くらふと くらぶ 編



**Q** 「くらふとくらぶ」とは、どんな団体ですか?

**A** 知的・発達障がい者のための余暇活動として、15名の会員が書道と革細工制作の活動をしています。10年前、当事者の保護者と福井大学名誉教授の熊谷高幸先生が中心となって立ち上げました。書道は毎月1回、革細工製作は年に4回、日曜日の14:00～16:00まで、どちらも福井県社会福祉センターで活動しています。現在は、11月2・3日にアオッサで開催する会員作品展に向けて制作を進めています。

**Q** どんな思いで活動をしていますか?

**A** モノづくりや書道作品制作を通して、参加者の皆さんに達成感や自信を持てる時間を過ごしていただけたらと思って活動しています。書家の北村先生は、筆だけでなく段ボールや板、縄など身の回りの物で参加者が使いやすい道具を選び、字のイメージを膨らませつつ、会員がやりたい気持ちを大事に自分も楽しみながら指導されています。革細工の場合は、工程には根気がいりますが、自分のペースで自由に作品を作ってもらっています。

### 保護者の方からの声



先生方に実技指導していただきながら、自分の好きなモノや言葉表現し楽しく活動しています。余暇活動を通じて地域への社会参加もできとてもありがたいです。



◀書道の様子  
ブラシで書いています

◀革細工の様子  
小物入れを作っています

<お問い合わせ>

Eメール nemnem31@i.softbank.jp (担当 野尻さん)



## ポウさんぽ...

### なかまのSHOPでくつろぎませんか

げんきの家では、重い障がいをもっていても、様々な人たちと関わりを通して、街の仲間としてともに認め合えるような活動をしています。そのひとつとして、新施設の1階では、地域の方との交流を目的とした「なかまのSHOP」を開店しています。

店内では、障がいのある仲間たちが、おいしいコーヒーや紅茶を提供します。その他、電子レンジで簡単に調理できる冷凍食品や、縫製品などの販売を行っています。

また、毎月第2土曜日には、げんきの家の正面玄関横にて「A♡Z♡RA(あおぞら)げんき市」を開催し、お花(菊束・洋束)、雑巾や布巾の販売をしています。

職員の中林さんは、「げんきの家を利用している仲間たちは、決まった方との関わりになりがちです。地域の皆さん、近くを通りかかって気になっていた方など、ぜひ気軽にお立ち寄りいただきたいです!」と話されていました。



▲看板が目印



▲仲間たちが待ってま〜す!

### なかまの SHOP

<営業時間> 10:30～15:00  
(14:30 ラストオーダー)

<定休日> 毎週木曜・日曜・祝日

<お問い合わせ>

社会福祉法人 げんきの家 (高木中央2丁目401)

TEL 52-8991



▲店内の様子

▲冷凍食品は、テイクアウトはもちろん、店内飲食もできます♪